

教育しが

平成20年(2008年)11月号

No.12 滋賀県教育委員会

事務局各課連絡先

教育委員会事務局

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1

教育総務課	077-528-4511
教職員課	077-528-4531
福利課	077-528-4551
学校教育課	077-528-4571
人権教育課	077-528-4591
生涯学習課	077-528-4651
スポーツ健康課	077-528-4611
文化財保護課	077-528-4671

平成20年度

全国学力・学習状況調査の結果

の概要をお知らせします

調査の概要

調査目的

各教育委員会、学校が児童生徒の学習状況を把握・分析し、教育および教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。

調査の対象学年 小学校第6学年、中学校第3学年

実施内容

- ①教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - ・主として「知識」に関する調査(A問題)
 - ・主として「活用」に関する調査(B問題)
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

調査実施日 平成20年4月22日(火曜日)

実施学校数

小学校	対象学校数	実施学校数
市町立学校	231校	230校
県立特別支援学校小学部	12校	3校
中学校	対象学校数	実施学校数
市町立学校	97校	96校
県立学校	3校	3校
県立特別支援学校中学部	12校	3校

※6年生が在籍していない小学校が1校、修学旅行のために後日実施した中学校が1校あり、特別支援学校は対象となる児童生徒の在籍する学校が実施しました。

調査の結果

★「教科に関する調査」の実施結果の概要

滋賀県(公立)の平均正答率は、下表のとおりです。

【平均正答率】

教科等	国語		算数・数学	
	A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」
小学校	62.3%	47.8%	70.3%	50.4%
中学校	72.5%	59.6%	64.6%	48.1%

★具体的な課題等

学年	教科	課題
小学校	国語	◇場面や状況などに応じて工夫して話すことや、話し手の意図を考えながら話を聞くことなどはできません。 ◆目的に即して段落の内容を読みとることや、資料から必要な情報を読みとり、それを根拠に自分の考えを書くことなどに課題があります。
	算数	◇整数や小数の四則計算や、円グラフを読むことなどはできません。 ◆面積についての感覚を身に付けること、小数の計算における乗数(除数)と積(商)の大きさの関係を理解すること、2つのグラフの特徴を基にしてその違いを説明することなどに課題があります。
中学校	国語	◇論理の展開に即して内容を読みとることや、表現に注意しながら文章を読みとることなどはできません。 ◆敬語や同音異義語などを文脈の中で適切に使うこと、文章から読みとった情報を根拠にして自分の考えを書くことなどに課題があります。
	数学	◇分数の減法、簡単な一元一次方程式を解くことなどはできません。 ◆文字式を事象と関連付けて読みとること、一次関数の表からxとyの関係を $y=ax+b$ の式で表すこと、事象を数学的に解釈し、その結果や問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することなどに課題があります。

課題があるとみられる問題例

正答率: 正しく答えた児童生徒の割合

無解答率: 答えを書かなかった児童生徒の割合

●小学校 国語のAから

【資料】言葉づかいで困っていること

「敬語がうまく使えない」と思っている人の割合
「流行語や新しい言葉の意味が分からないことがある」と思っている人の割合

高田さんは、次の「資料」をもとに、「言葉の使い方」についての報告文を書くことにしました。そこで、「資料」から分かったことをメモに取りました。アの書き方のように、イの中に入るふさわしい言葉を書き出しに続けて書きましよう。

イ 「流行語や新しい言葉の意味が分からないことがある」と思っている人の割合は、十六歳から十九歳までが(正答例)ももっとも低く、年齢が上がると増えていくようすが見られる。

ア 「敬語がうまく使えない」と思っている人の割合は、十六歳から十九歳までがもっとも高く、年齢が上がると減っていくようすが見られる。

目的に合わせ資料を読むことや、資料から分かることを的確に書くことに課題があります。

正答率: 滋賀県(公立)…42.2%

無解答率: 滋賀県(公立)…14.5%

【用意したカード】

エ 服そうや準備
ウ 登山の楽しさ
イ 登山前の体カづくり
ア 質問を受ける

小野さんの学校では、五年生になると登山に行きます。六年生の小野さんは、去年の登山の経験を五年生に話すために、次のアからエのカードを用意しました。小野さんは、実際にはどのように組み立てて話したのでしょうか。実際に話した内容に合わせて、四枚のカードを順番に並べかえ、その記号を書きましよう。

(正答) ウ→イ→エ→ア

【小野さんが実際に話した内容】

さわやかな五月、山に登ると風がとても気持ちよかったです。歩いていっていると、美しい花やめずらしいキノコに出会い、みんな喜んでいました。山のちよう上まで登り着いたあとに食べたお弁当は、とてもおいしかったです。

わたしたちは、登山に向けて、一か月前から毎日運動場を走りましました。みなさんも、登山のときは、虫にさされたり、木の枝でけがをしたりしないように、「長そでの服」と長ズボンで参加するとういと思います。ぼうしやタオルも必ず持たないでください。みなさん、分からないことがあれば、何でも聞いてください。

場面や目的などに応じ、組立てを考えながら話したり聞いたりすることができています。

正答率: 滋賀県(公立)…77.3%

無解答率: 滋賀県(公立)…1.2%

●中学校 数学のBから

里奈さんたちは、下のパンフレットを見ながら、8月に行く「富士五湖めぐり」と「富士山6合目登山」の計画を立てています。

富士山頂 3,776 m
9合目 3,550 m
8合目 3,350 m
6合目 2,500 m
5合目 2,305 m

富士山登山コース
富士五湖めぐりコース

里奈さんは、富士山周辺と山頂の8月の平均気温を調べました。そして、下の表のようにまとめ、高さ(標高) x mのときの気温を y °Cとして、グラフに表しました。

観測所	標高(m)	平均気温(°C)	観測所	標高(m)	平均気温(°C)
A(甲府)	273	27.7	D(河口湖)	860	23.3
B(勝沼)	394	26.7	E(山中)	992	21.7
C(古閑)	552	24.9	F(富士山)	3775	6.4

標高と気温のグラフ

里奈さんは、「高さが高くなるのともなって、気温が一定の割合で下がる」ことをもとに、表やグラフのDとFのデータを用いて、6合目のおよその気温を求めることにしました。

このとき、6合目(2500m)のおよその気温を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に気温を求める必要はありません。

事象を数学的に解釈し、表やグラフをもとに問題解決の方法を説明することに課題があります。

(正答例) グラフの点Dと点Fを直線で結び、 $x=2500$ のときのy座標をよむ。

正答率: 滋賀県(公立)…12.0%

無解答率: 滋賀県(公立)…63.2%